

熱意系 HONMA、はじまる。

2013年11月15日

<お客様各位>

ツアープロのこだわりとニーズを基に設計・開発した TOUR WORLD シリーズのウェッジ

## 12月9日『HONMA TOUR WORLD TW-W』新発売

ツアープロが重視する「抜け」「顔」「スピン」にこだわり抜いた、トーナメントで勝つためのウェッジが登場

株式会社本間ゴルフ

株式会社本間ゴルフ（本社：東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー35F、代表取締役社長：西谷浩司）は、ウェッジ『HONMA TOUR WORLD TW-W』を2013年12月9日（月）より、全国の本間ゴルフ直営店および本間ゴルフ製品取扱店にて発売いたします。

この度発売する『HONMA TOUR WORLD TW-W』は、TEAM HONMA のツアープロがトーナメントで勝つために開発されたウェッジです。「抜け」「顔」「スピン」をはじめとするツアープロのこだわりとニーズをサポートチームがヒアリングし、酒田工場の職人にフィードバック。“匠”と呼ばれるゴルフクラブ職人と CAD 設計による、「匠」と「デジタル」の融合がプロの要求に応えるウェッジを作り上げました。

### 1. ツアープロのテクニックを引き出す「抜け」

ロフト 56°と 58°のモデルでは、トゥとヒールを落としたソール形状を採用し、どのようなライであっても、フェースがボールの下に入り込み、抜群の振り抜き性能を実現しました。

### 2. ツアープロが最も重視する「顔」

通常のウェッジではスコアライン部分のみのブラスト加工（研磨材を吹き付ける加工）を、フェース全面に施しました。これによりフェース面が大きく見え、フェースを開いて使う場合にも方向が安定します。

### 3. ウェッジの最も重要な性能「スピン」

ソール面を平らにすることで、インパクト時に地面に弾かれず、フェースにボールが乗り、滑りにくい形状としました。これにより出球が低くなり、スピンをかけやすくしました。

この『HONMA TOUR WORLD TW-W』は、既の上井邦浩プロをはじめ多くのツアープロがトーナメントで使用しており、各プロからは、「抜けがよくスピンのよく効く」との声をいただいております。

当社では、もっと思い通りにスイングしたい、もっと理想のゴルフに近づきたい。そんな向上心にあふれたゴルファーを“熱意系ゴルファー”と定義し、この層をコアターゲットに積極的な活動を行っております。当社はプロのテクニックを最大限に引き出すウェッジ『HONMA TOUR WORLD TW-W』で、熱意系ゴルファーの向上心に答えていきます。なお製品概要につきましては次頁をご参照ください。



<HONMA TOUR WORLD TW-W>

#### 【本件に関するお問合せ先】

株式会社本間ゴルフ コーポレートコミュニケーションズチーム 担当：山本、大月、鄒(シュウ) TEL:03-6864-0020

#### 【掲載の際のお客様からのお問い合わせ先】

株式会社本間ゴルフ お客様相談窓口 TEL:0120-941-380 9:30-17:00(土日・祝日除く)

#### 【ご掲載・写真・スペックデータ等に関するお問合せ先】

本間ゴルフ 広報事務局 共同 PR 株式会社 担当：杉浦、江頭、菅野 TEL:03-3571-5228

— 『HONMA TOUR WORLD TW-W』 製品概要 —

【製品名】 『HONMA TOUR WORLD TW-W』

【発売日】 2013年12月9日(月)

【価格】 1本 19,950円(税込)

【スペック】

ヘッド素材/製法		軟鉄/鋳造			
ヘッド仕上げ		バックフェース: ハーフミラー仕上げ/フェース: ブラスト仕上げ			
ロフト(°)		50	52	56	58
ライ角(°)		63.5			
バンス角(°)		9	9	13	13
フェース・プログレッション(mm)		4.5	4.5	5.8	5.8
長さ(インチ)		35.0			
バランス・総重量(g)	S200	D2・471	D2・471	D3・472	D3・472

※新溝ルール適合モデル(R&Aの2010年新溝ルール適合) 日本製

【シャフト】 ダイナミックゴールド \*ダイナミックゴールド以外はオーダー対応

【構造】



ロフト 56°、58°はトゥ・ヒールを落としたソール形状を採用。あらゆるライでもボールの下に入り込み、振り抜き性能・スピン性能が向上しました。プロのテクニックを最大限に引き出す、熱意系ゴルファー向けのウェッジです。



フェースの見え方にこだわるプロのニーズにより、通常スコアライン部分のみのブラスト加工を、フェース全面に施しました。これによりフェース面が大きく見え、フェースを開いて使う場合も方向が安定し、構えやすい視覚効果が生まれます。



ソール面を平らにすることで、インパクトで地面に弾かれず、フェースにボールが乗り、滑りにくくなりました。これにより出球が低くなりスピんがかかりやすくなります。同時に、適度にバンスを設けることで刺さりになりました。

【プロの声】



<上井邦浩プロ>

「フェアウェイからはもちろん、バンカーからも非常に抜けがいい。フェースにボールが乗り、スピんもよく効く。プロの感性が形になったウェッジだね。」